

当院で膿瘍形成性虫垂炎の間欠期虫垂切除術治療を受けた患者さんへ

小児膿瘍形成性虫垂炎に対しての治療指針としては、拡大手術への移行や術後合併症の可能性が高くなることから、急性期の手術を避けて間欠期虫垂切除術(Interval appendectomy(以下, IA))を施行することが多いです。しかし、その手術待機中に虫垂炎が再燃してしまう症例が少なくありません。小児におけるIA待機時の虫垂炎再燃のリスクに関する報告は少なく、その手術至適時期に関しては議論の余地があります。

以上から、今回当科で手術を受けられた患者さんの診療録をもとに膿瘍形成性虫垂炎のIA待機時の虫垂炎の再燃リスクに関して検討を行います。

研究課題

膿瘍形成性虫垂炎の間欠期虫垂切除術待機時の虫垂炎再燃リスクの研究

研究目的

膿瘍形成性虫垂炎のIA待機時の虫垂炎再燃リスクを明らかにすることを目的とします。

研究対象

2014年1月から2023年12月までに松戸市立総合医療センター 小児外科（旧松戸市立病院 小児外科）で膿瘍形成性虫垂炎の診断となりIAを施行した患者さんを対象とします。

オプトアウト

利用する診療情報等の項目

性別、年齢、身体所見、身長、体重、既往歴、使用薬剤、術前後検査結果（採血、胸腹部レントゲン検査、腹部エコー検査、CT検査等）、手術記事（手術時間、出血量、術中所見等）、術後合併症内容等

利用期間

倫理審査委員会承認後より、学会発表や論文掲載までの間を予定します。

この研究における診療情報等の取扱い

松戸市病院事業倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、診療情報等個人情報は、匿名化を行い研究に用います。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。個人情報が外部に洩れることのないように厳重に管理します。

予測される患者さん側の利益と不利益

利益：この研究にデータをご提供いただくことで生じる個人の利益は、特にありません。

不利益：過去における電子カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

この研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。この研究課

オプトアウト

題における診療情報等の利用については、当院倫理委員会によって実施についての承認が得られています。しかし、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる患者さん、もしくは患者さんの代理人の方の中で、診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下欄の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問い合わせ先

松戸市立総合医療センター 小児外科

担当医師 平野祐一 / 小児外科部長 松浦玄

住所：千葉県松戸市千駄堀993番地の1

電話：047-712-2511（代表番号 平日8時30分から17時）

FAX：047-712-2512